

# 東金税務署長賞

## 税金のある暮らし

横芝敬愛高等学校 一年 中川 愛理

私は、「税金」と聞くとあまり良くない考えが思い浮かびます。「税金は国民の負担を増やしているだけ」と、今までは思っていました。

今回、税金についての作文を書くにあたって、税金の使われ方や税金が無いと生活がどうなってしまうのか。など、税金に関係する講義が開かれました。その中で特に驚いた事があります。それは「税金の種類の多さ」です。講義の中でクイズが出されました。

私は、「三十種類くらいだろう。」と考えていました。が、正解は『五十種類』だということを初めて知りとても驚きました。

多くある税金の中で、興味のある税があります。それは、「消費税」です。その理由は私たち高校生のような学生でも払ったことのある税、身近にある税、と考えてみたところ消費税だと思いました。

消費税は令和元年十月から税率が十パーセントになりました。消費税は、商品やサービスを受けるときに商品等の代金に十パーセントを追加として私たち消費者が支払います。

このような「税金」を納めるということは国民の義務であるが、もしその納税という義務が無ければ、ゴミ収集や福祉といった公共サービスが停止となり、道路の状況などが悪くなり、私たちの生活がしくくなります。一方、きちんと納税をし税金が世の中に使われると生活の中で火災や災害から私たちを守る消防や身のまわりを警備してくれている警察の活動にも税金が使われます。また、私たちが普段使う道路も安全に通学、通勤ができるように整備するのにも税金が使われ、私たちが今、暮らす豊かな生活へと変わります。

税金をきちんと納めることで、安全な生活と整備されたきれいな町が保たれていることが分かります。これからの将来は社会の変化に合わせて税の仕組みを考えていくことが必要となります。なので今後の税金の使い道や税金の集め方をしっかり考えていくことが大切となっていくと思います。「税金は国民の負担を増やしているだけ」という私の今までの考えをよく見つめ直して将来勤労と納税の義務をきちんと果たせるように頑張ろうと努力しようと思います。

また、私たちは十八歳になると代表を選ぶ「選挙権」が与えられます。選挙にも多額の税金が費やされていることを知り、今はまだ選挙権を持っていませんが、権利を持つ年齢になったからにはきちんと責任を持ち、選挙に積極的に参加したいと思いました。大人になったら、この税金がある暮らしの中の社会の一員としてこれからの日本をもっとより良くしていきたいと思いました。